

VOL.

03

## プロジェクトマネージャー虎の巻

プロジェクトで  
つまずきやすい  
ポイントを押さえる

進捗管理編



# 目次

---

01. プロジェクト管理における進捗管理の重要性
02. 進捗管理を行わないとどうなる？
03. 進捗管理で確認するとよい指標
04. 進捗管理のコツ
05. Lychee Redmineで進捗管理

# 01. プロジェクト管理における進捗管理の重要性

# 01. プロジェクト管理における進捗管理の重要性

プロジェクトの成功において、進捗管理は不可欠な要素となっています。近年、市場の変動、技術の進歩、グローバル化などの様々な要因により、プロジェクトはますます複雑化しています。このような状況下でプロジェクトの進捗管理を行わなかった場合、適切なタイミングで問題に対処することができず、期限に間に合わない、予算超過、品質不足などのリスクを引き起こします。リスクを未然に防ぐためにも、プロジェクトマネージャーは効果的な進捗管理の必要性を理解することが求められています。



計画通りに実行することが困難

このような状況下でプロジェクトの進捗管理を行わなかった場合...



リスクを未然に防ぐためにも、プロジェクトマネージャーは効果的な進捗管理の必要性を理解することが求められる

## 02. 進捗管理を行わないとどうなる？

## 02. 進捗管理を行わないとどうなる？



### 期限の遅れ

進捗が適切に管理されていないと、プロジェクトの期限を守るのが難しくなります。タスクの進行状況を把握できず、必要な調整がなされないことが要因です。



### 予算の超過

進捗が適切に追跡されていない場合、予算の管理も難しくなります。予期せぬ遅延やタスクの再調整は、追加の費用を引き起こす可能性があります。



### 品質の低下

プロジェクトの進捗が適切に把握されていない場合、最終的な成果物の品質が低下するリスクがあります。これは、進捗管理が不十分なために重要な問題が見過ごされることが原因です。



### コミュニケーションの問題

プロジェクトの進捗が適切に共有されていない場合、チームメンバー間でのコミュニケーションが不足し、誤解や不一致が生じる可能性があります。



### スコープのずれ

進捗が適切に管理されていないと、プロジェクトの範囲が徐々に拡大し、当初の目的から逸脱してしまう可能性があります。



### ステークホルダーの不満

定期的な進捗報告がないと、ステークホルダー（顧客、投資家、チームメンバーなど）に不満が生じ、プロジェクトの支持を失うことがあります。

## 03. 進捗管理で確認するとよい指標

## 03 - 01. 進捗管理で確認するとよい指標

これらの指標を組み合わせて使用することで、プロジェクトの進捗や状況を包括的に把握し、適切な判断を下すことができます。  
また、前述したコミュニケーションの問題やスコープのずれなどのリスクを発見する手助けになることもあります。



### ◀◀ 進捗管理の指標一覧 ▶▶

CHECK | 01 進捗率

CHECK | 02 達成率

CHECK | 03 残作業

CHECK | 04 クリティカルパス

CHECK | 05 リソース利用率

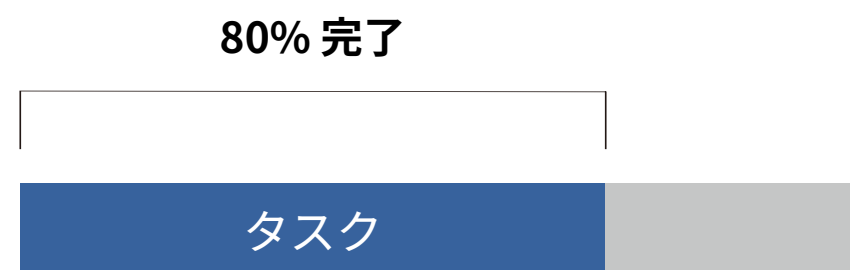
CHECK | 06 品質指標

CHECK | 07 課題の解決速度

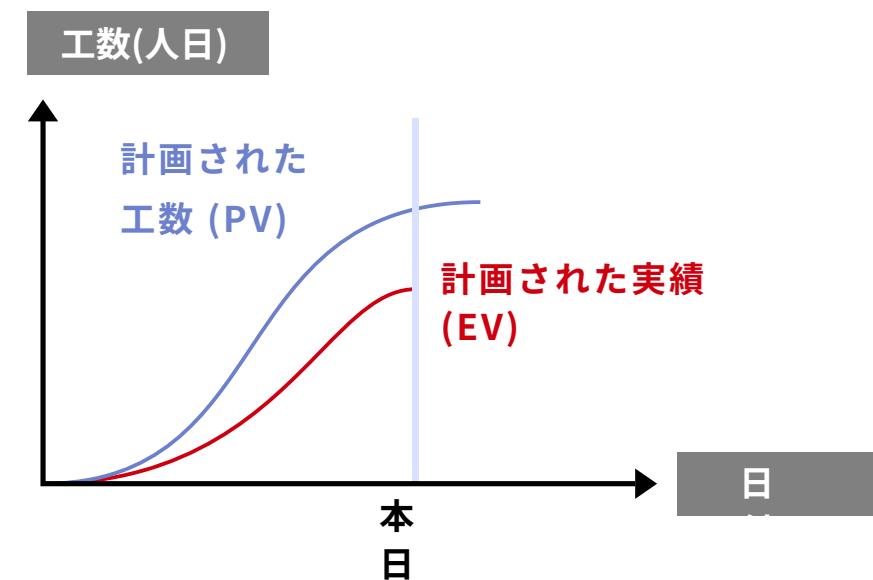


## 03 - 02. 進捗管理で確認するとよい指標

### CHECK | 01 進捗率



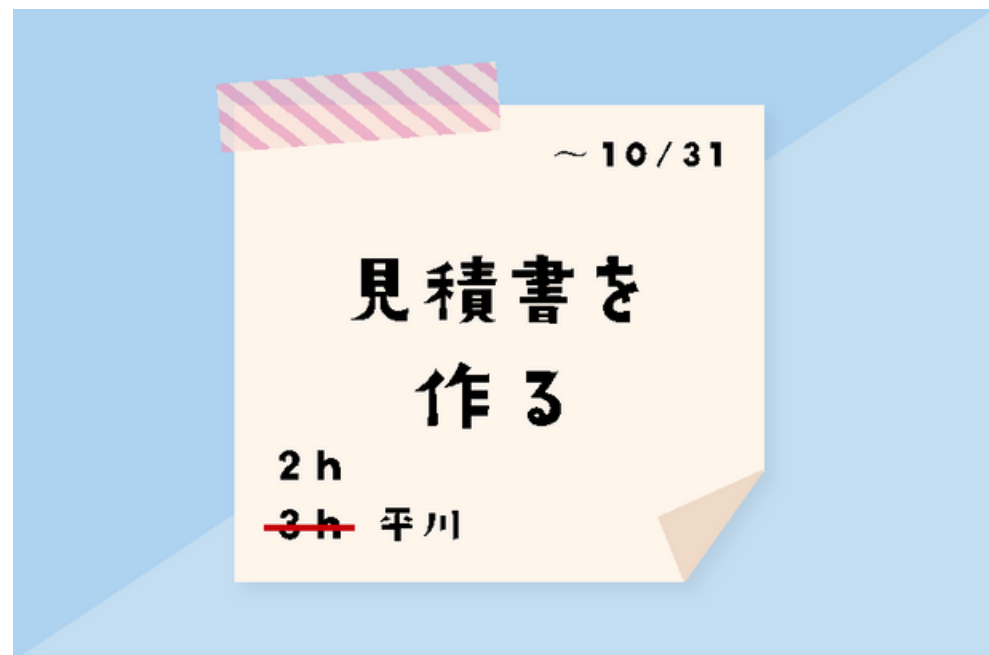
完了したタスクや作業パッケージの割合を示す指標。進捗率が高いほど、プロジェクトは計画通りに進んでいると言えます。ガントチャートで可視化することで、進捗状況やタスクの依存関係が一目で分かります。



### CHECK | 02 達成度

作業の進捗と工数やコストの観点からプロジェクトの状況を評価する指標。プロジェクト全体の工数や予算と作業の進捗を比較することで、実際の進捗を定量的に測定します。

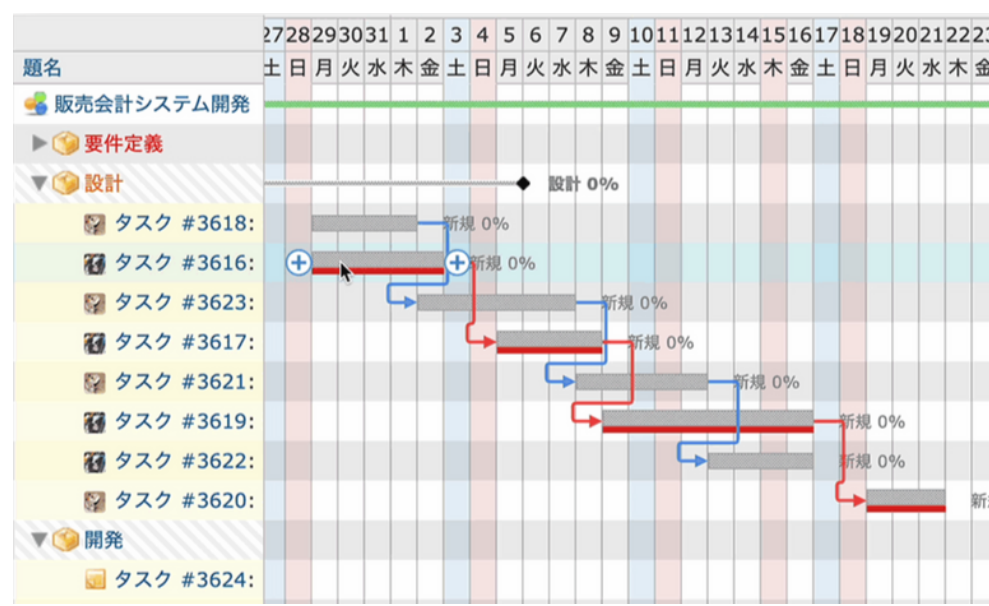
## 03 - 03. 進捗管理で確認するとよい指標



### CHECK | 03 残作業

まだ完了していないタスクや作業の量を示す指標。残りの作業量を知ること  
で、残りのスケジュールを見積もるのに役立ちます。

◀ 残工数が2時間なため、明日の午前中に完了すると予測できる



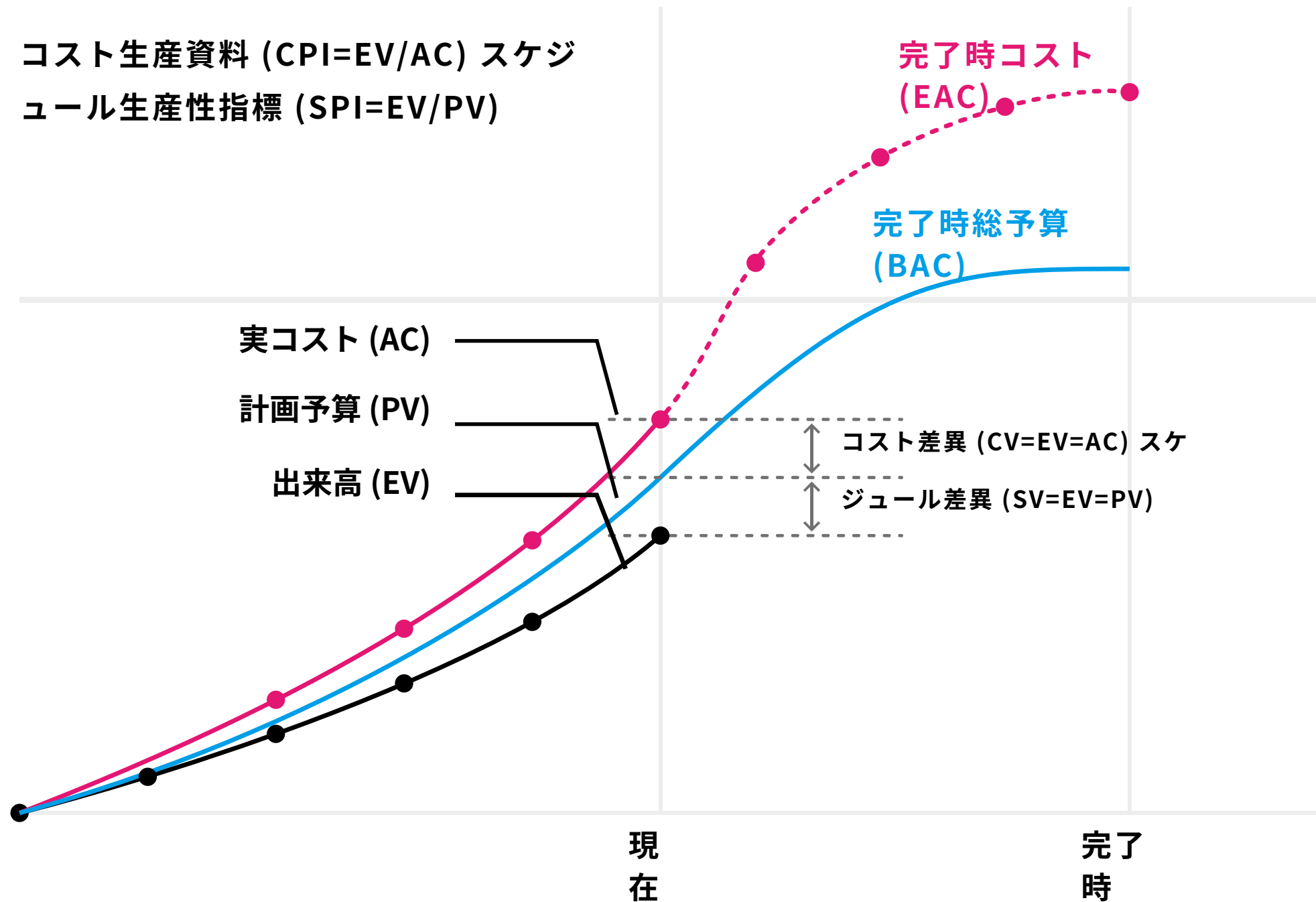
### CHECK | 04 クリティカルパス

プロジェクトの進行において最も時間がかかる一連のタスクの組み合わせを  
指します。クリティカルパス上のタスクが遅れると、プロジェクト全体の  
納期にも遅れが生じます。

# 03 - 04. 進捗管理で確認するとよい指標

## CHECK | 05 リソース利用率

プロジェクトにおけるリソース（人員、資材、時間など）の計画に対する実績を示す指標。過剰なリソースの使用や不足を防ぎます。



## 03 - 05. 進捗管理で確認するとよい指標

CHECK |

06

### 品質指標

成果物の品質を評価するための指標。バグの数、テストの合格率、品質基準の達成度などが含まれます。以下は品質指標の一例です。



#### プロジェクトのマイルストーン達成率 **Milestone Achievement Rate**

プロジェクトの重要な段階や目標が計画通りに達成されているかを示します。遅延は将来的な問題の兆候である可能性があります。



#### バグや欠陥の数 **Number of Bugs/Defects**

開発中の製品やシステムにおけるバグや欠陥の発生数です。数が多いと品質管理の問題を示している可能性があります。



#### バグの密度 **Bug Density**

プロジェクトのコードや製品に発生したバグの数量を、単位コード行数または機能点で割った比率。低いバグ密度は、品質管理の観点から見て高品質の成果物を意味します。



#### テストカバレッジ **Test Coverage**

テストがプロジェクトのコードや機能のどれだけを網羅しているかを示す指標。高いテストカバレッジは、潜在的なバグの発見を容易にし、品質向上に寄与します。

## 03 - 06. 進捗管理で確認するとよい指標

CHECK |

06

### 品質指標



#### リリース後のバグ報告数 **Number of Bugs Reported After Resource**

プロジェクトがリリースされた後に報告される不具合や問題の数。

リリース後の品質の評価と、将来の品質向上の計画を立てるための重要な情報源です。



#### 変更リクエストの数 **Number of Change Requests**

プロジェクトの範囲や要件に関する変更要求の頻度です。

頻繁な変更リクエストは、計画や要件の不明確さを示唆する可能性があります。



#### ステークホルダー満足度 **Stakeholder Satisfaction**

プロジェクトの進捗に対するステークホルダーの満足度です。

ステークホルダーの期待に沿っているかどうかを測定することは、プロジェクトの成功に不可欠です。



#### 遅延の有無 **Presence of Delay**

タスクやプロジェクトの進捗が計画よりも遅れていないかを確認します。

遅延が発生している場合、前のフェーズでの成果物の品質が低い可能性があります。



#### 再作業率 **Rework Rate**

完了した作業が不適切であるためにやり直す必要がある割合です。

頻繁に手戻りが発生している場合は、タスクの内容や計画の見直しを要する可能性があります。

## 03 - 07. 進捗管理で確認するとよい指標

CHECK

07

### 課題の解決速度

課題（タスク）やリスクに対する対応の速さを評価するための指標。

課題が発生した際にどれだけ迅速に対応できるかがプロジェクトの健全性に影響します。



## 04. 進捗管理のコツ

## 04 - 01. 進捗管理のコツ



### 明確な目標設定

プロジェクトにおいて、明確な目標の設定は、プロジェクトを正しい方向に導き、効率的に進めるための「道しるべ」のようなものです。個々のタスクにおいても、明確なゴールが設定されていれば、そのゴールに向かっての進捗を測定しやすくなります。また、どのようなアクションが目標達成に貢献するか、意思決定の基準にもなります。



### 客観的なデータを使用する

進捗の追跡は、客観的なデータやメトリクスを使用して、主観的な意見や感覚に頼らないことが重要です。プロジェクトマネージャーとしては、チームメンバーがプロジェクトの問題点や遅延、リスクを隠さずに報告できるような文化をつくりましょう。これにより、問題が発生した場合に速やかな対応が可能となり、全メンバーが共通の理解を有する環境が構築されます。



### タスクの細分化

タスクの粒度が大きいと進捗率で管理したくなりますが、進捗率は個人の主観で決められてしまいがちで客観性に欠けることがあります。タスクを細分化することで、タスクの漏れにも気づきやすくなり、完了 / 未完了のみで管理できるため、客観的にプロジェクトの進捗を評価できるようになります。タスクの粒度は1~2日など、できるだけ小さくするのがオススメです。



## 04 - 02. 進捗管理のコツ



### こまめな進捗確認

日次・週次・月次など、定期的にプロジェクト全体や個々のタスクの進捗を振り返りましょう。常に状況を把握していれば、問題が発生しても適切に対処できます。特に、複数の人やチームが関わるプロジェクトでは状況がすぐに変わるため、プロジェクトマネージャーから声掛けして確認するだけでなく、担当者からも報告ができるように、朝礼や会議などの場を設定してみましょう。

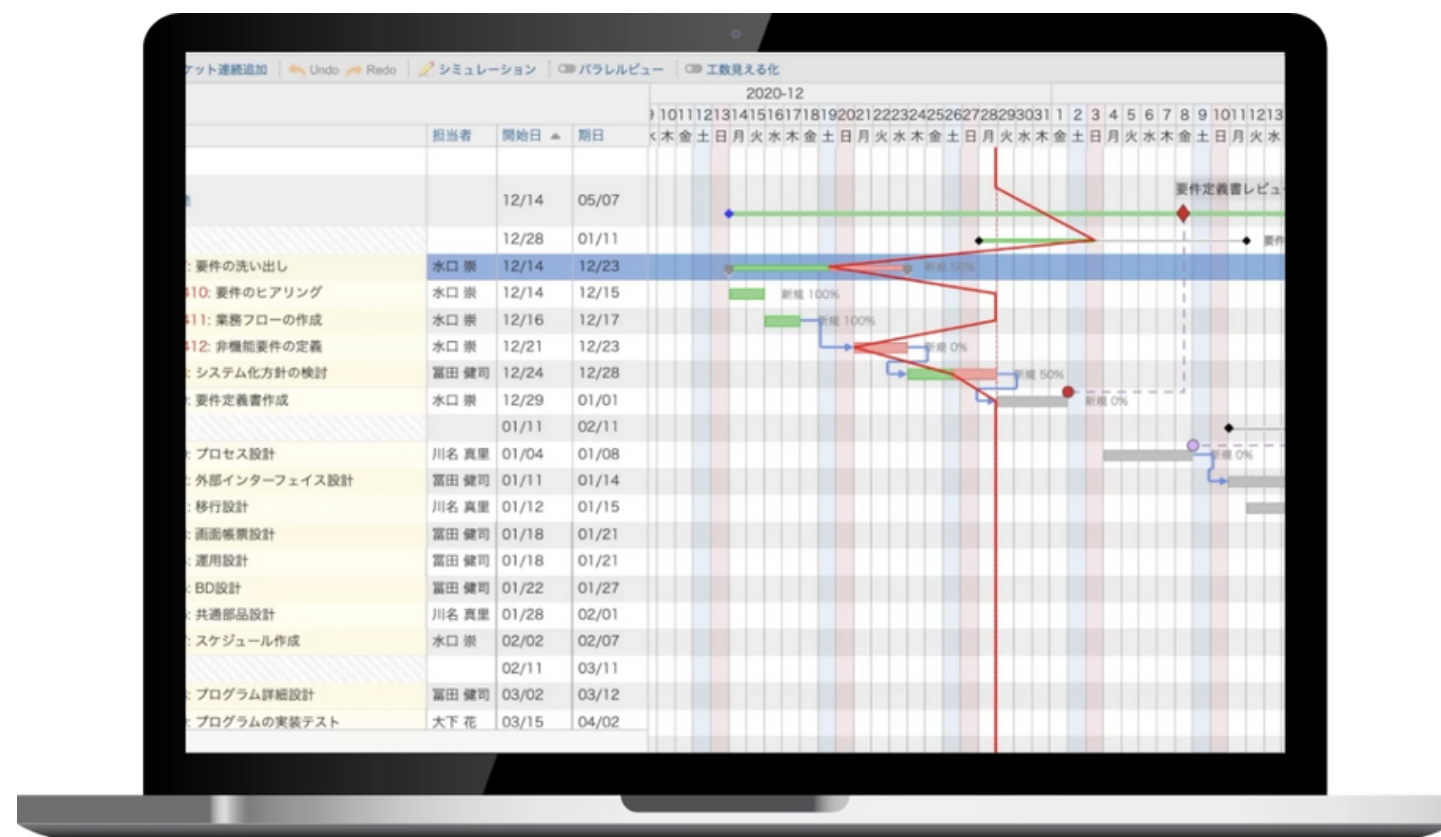


### 情報収集と可視化

プロジェクト進行をスムーズにするためには、タスクやスケジュールの管理、リソース配分などの調整を適切にすることが重要になります。自分の頭の中だけに留めておかずに、ガントチャートやカンバンなどを使って、積極的にプロジェクトの状況を見える化し、メンバーとも共有しましょう。プロジェクト管理ツールやソフトウェアを活用し、必要な情報を収集・可視化できる土台を作っておきましょう。

## 05. Lychee Redmineで進捗管理

## 05. Lychee Redmineでの進捗管理



プロジェクト管理ツール「Lychee Redmine」には、**進捗管理に使用できる機能が揃っています。ガントチャートや「ダッシュボード」**で日々の進捗を確認しつつ、複数のプロジェクトを抱えている場合は**プロジェクトレポート**でまとめて状況を把握できます。その他にも、**工数の見える化**と管理、**EVM**、**CCPM**、アジャイル開発に使える**カンバン&バックログ**など豊富な機能でプロジェクトの成功をバックアップします。



ガントチャート



カンバン



リソース  
マネジメント



タイム  
マネジメント



EVM



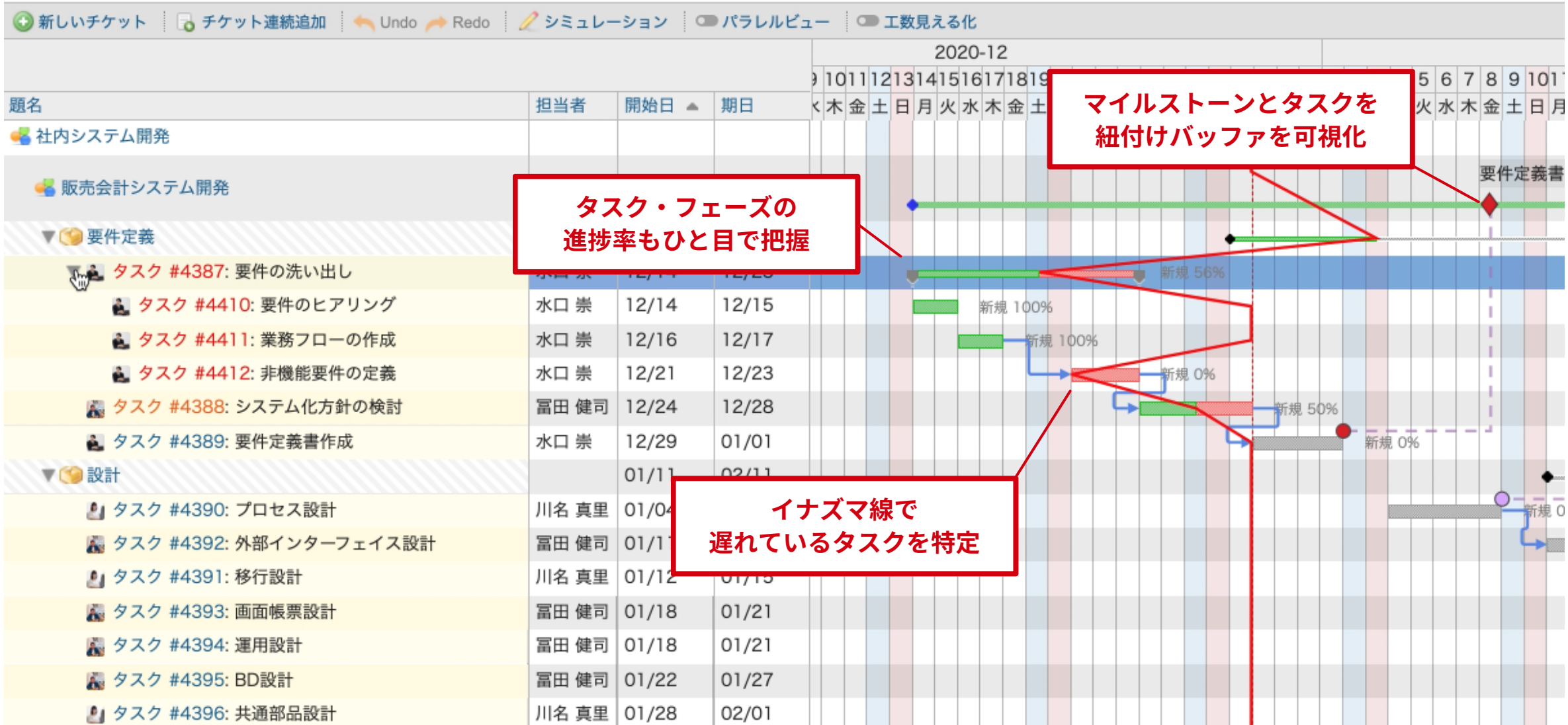
プロジェクト  
レポート



コスト

# Lychee Redmineでの進捗管理 -ガントチャート-

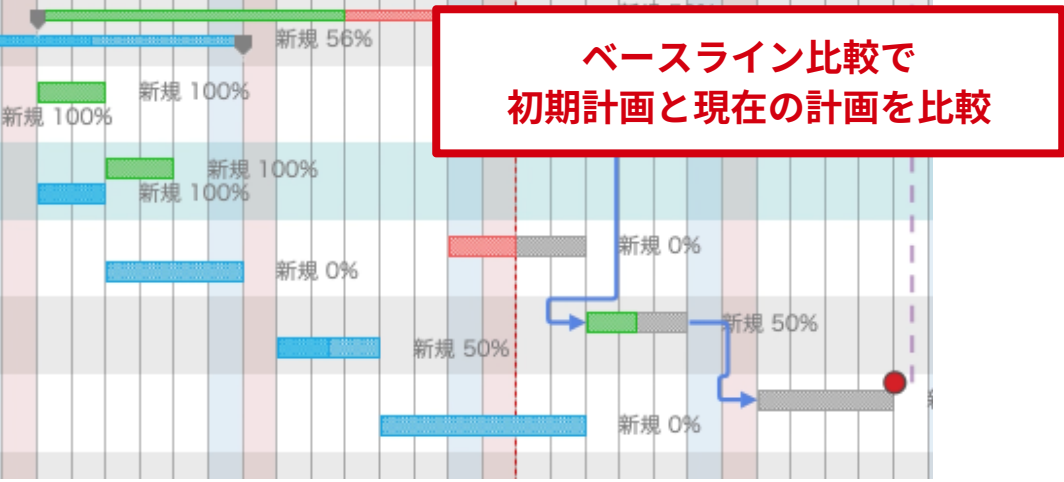
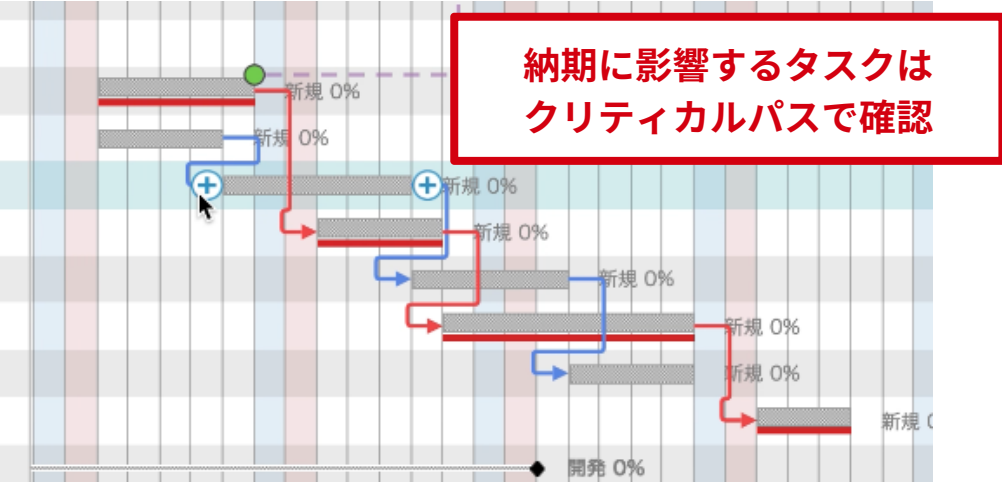
使いやすく高機能なガントチャートで、面倒な情報収集なく、進捗率、マイルストーンやタスクの完了状況などをリアルタイムに可視化します。その他にも、イナズマ線、クリティカルパス、ベースライン比較など、豊富な機能により、納期遅延などのリスクを瞬時に把握できます。



タスク・フェーズの進捗率もひと目で把握

マイルストーンとタスクを紐付けバッファを可視化

イナズマ線で遅れているタスクを特定

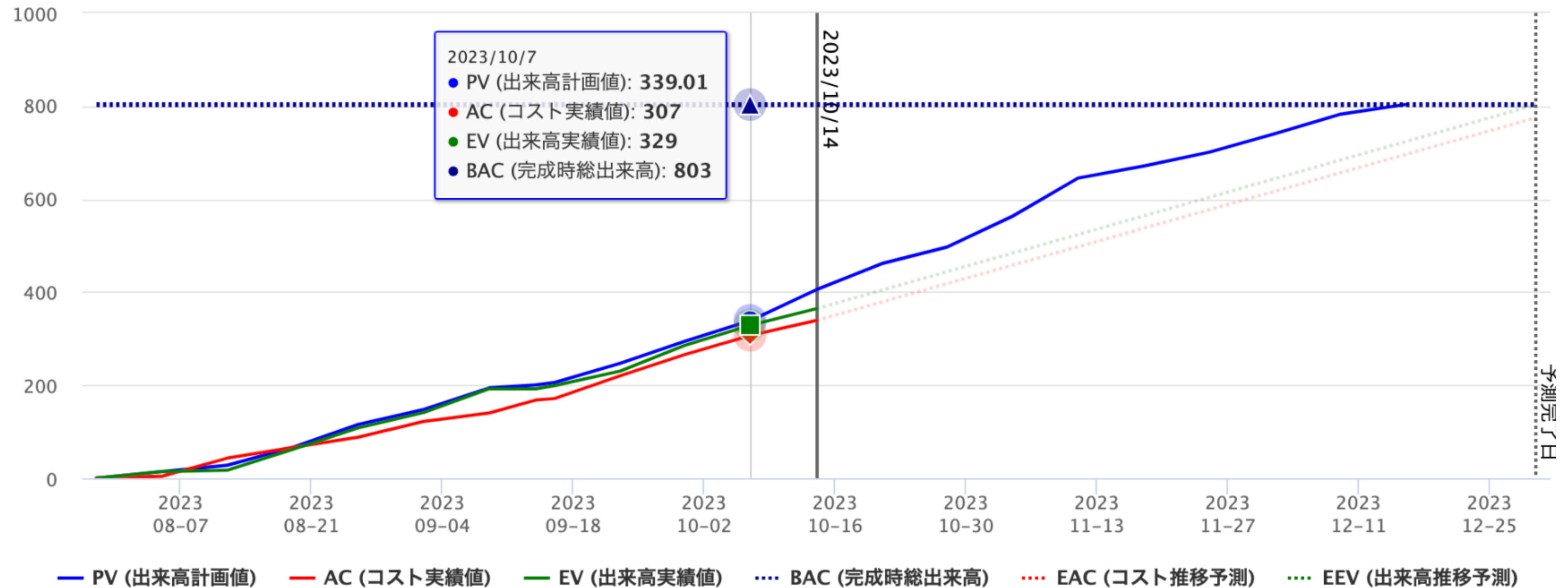


# Lychee Redmineでの進捗管理 -EVM-



PV・AC・EVを即座に確認可能

現在の開発ペースで、完了時の予測コスト（EAC）が当初予算（BAC：プロジェクト終了時点での予定工数の和）の範囲内に収まるか否かも予測できます。



# Lychee Redmineでの進捗管理 -EVM-



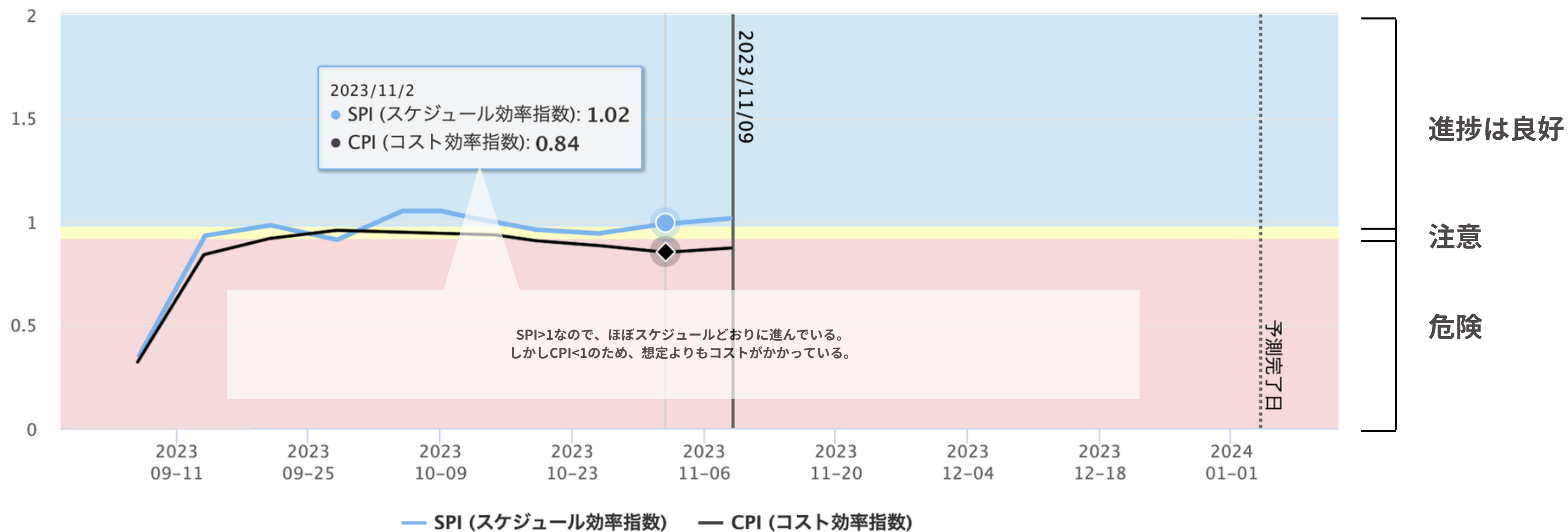
SPI (スケジュール効率化指数)、CPI (コスト効率化指数) を表示

青は進捗が良好、黄色は注意、赤は危険ゾーンです

現在の開発ペースから、納期遅延やコスト増のリスクを事前に検知できます

## SPI+CPI

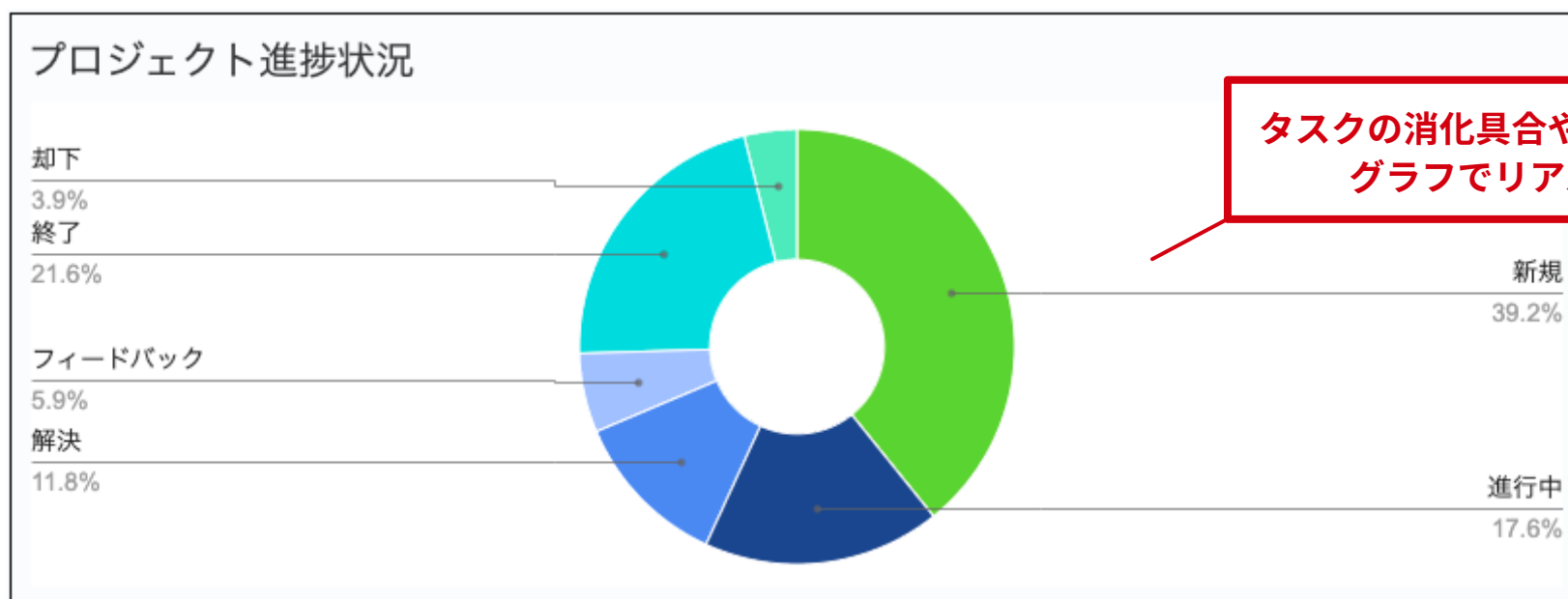
≡ エクスポート



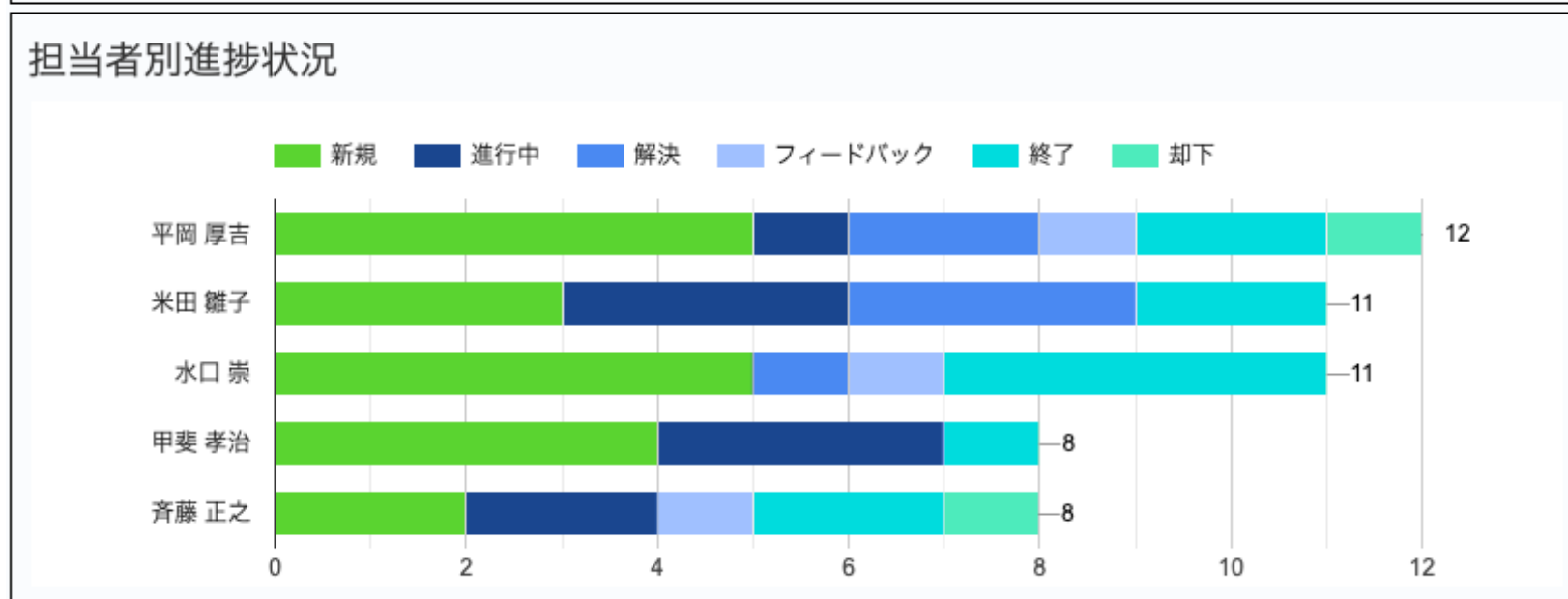
# Lychee Redmineでの進捗管理 -ダッシュボード-



日常的にプロジェクトの状況を確認するときはダッシュボードが便利です。  
作業の進捗がグラフと一覧で可視化され、手軽にプロジェクトの進捗を確認できます。



タスクの消化具合やメンバーの作業状況を  
グラフでリアルタイムに可視化



期限切れチケット / 期日が近いタスクを  
一覧で表示し、作業漏れを防止

### 期限切れチケット

#	トラッカー	題名	担当者	期日
184	機能	画面詳細設計書	甲斐 孝治	2022-01-20
185	機能	画面パーツ一覧	甲斐 孝治	2022-01-21
186	機能	機能仕様書作成	平岡 厚吉	2022-01-24

### 期日が近いチケット

#	トラッカー	題名	担当者	期日
189	機能	画面パラメーター一覧	米田 雛子	2022-01-28
187	機能	エラーメッセージ一覧	斉藤 正之	2022-01-28
188	機能	表示メッセージ一覧	斉藤 正之	2022-01-31
214	機能	ログ出力設計		2022-02-01

# Lychee Redmineでの進捗管理 -プロジェクトレポート-



プロジェクトレポートを使えば、複数のプロジェクトをまとめて確認できます。

「進捗」「品質」「コスト」の指標がシグナルで表示され、直感的に状況を把握できます（赤：危険、黄：注意、青：良好）。

各指標は自由に作成でき、各社に合ったレポートを用意できます。

プロジェクトレポート

プロジェクトレポート設定 共通レポート設定 指標設定

カスタムクエリ

フィルタ

プロジェクトのステータス 等しい 有効

表示する項目

適用 クリア 保存

指標は自由にカスタマイズが可能

プロジェクト	マネージャー	タスク消化率	作業時間消化率	チケット期日からの遅延日数	バグ消化率	テスト密度	バグ密度	予算
								コスト予想
販売会計システム開発	大城 忠義	133.2%	88.7%	0	86.7%	76.85	0.05	3,400,000 4,625,000
携帯電話向けゲームアプリの開発	重田 登	92.9%	77.2%	10	81%	40.18	1.2	4,000,000 4,750,000
議事録管理システム開発	水口 崇	90.6%	84.6%	18	83.3%	69.34	0.04	3,500,000 2,892,500
新規事業システム開発	大橋 宏行	83.5%	64.7%	18	58.3%	85.86	3.43	5,000,000 2,250,000
基幹システム開発	大橋 宏行	73.2%	92.6%	14	47.59%	61.48	0.08	1,400,000 1,500,000
行政アプリの開発	甲斐 孝治	67.5%	100.6%	18	63.2%	26.72	1.01	4,000,000 3,500,000
商品管理システム開発	宮本 吉之助			17	60%	58.79	1.6	2,500,000 1,158,900

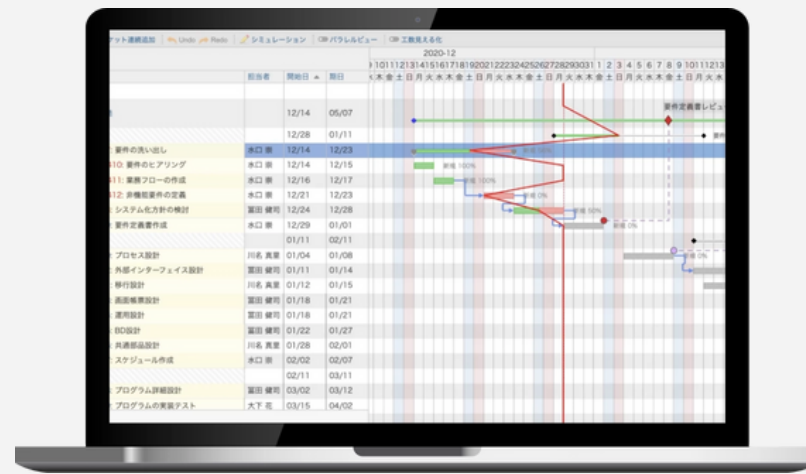
複数プロジェクトの状況をシグナル表示



進捗管理をより本格的に行いたい企業様は、ぜひ、Lychee Redmineを  
ご利用くださいませ。他のお役立ち使用も貴社のプロジェクト管理に貢献できれば幸いです。

最後までご覧いただき、ありがとうございました！

## Lychee Redmine 30日間無料お試し



無料体験版を  
今すぐ試す

## お役立ち資料



お役立ち資料は  
こちら

## もっと詳しく



Webサイトを見  
る

この資料の監修

株式会社アジャイルウェア

スクラムマスター／アジャイルコーチ

Team.KAIZEN 組織マネジメント／開発マネジメント

# 平川 隆仁

製造業界でのエンジニア職およびスクラムマスターの経験を経てアジャイル開発の奥深さを知る。組織体制にとらわれず、チーム本来の生産性を発揮できるワクワク組織を作るためにアジャイルウェアに入社。Lychee Redmineのプロダクトオーナーや複数チームのスクラムマスターを歴任。企業規模の拡大に伴い Team. KAIZEN を立ち上げ、現在は全社のカイゼン活動をリードしながら、より働きやすく成果を上げられる組織の実現を追求している。

その他のコミュニティ活動: スクラムフェス大阪 実行委員





## 株式会社アジャイルウェア

アジャイルウェアホームページ : <https://agileware.jp/LycheeRedmine>

導入のご相談 : <https://lychee-redmine.jp/contact/>

お問い合わせ先 : <https://agileware.jp/contact/other-form/>